

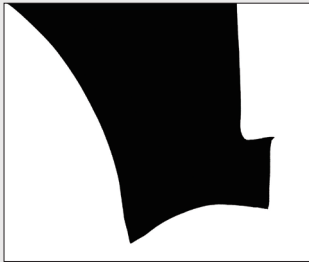
オブジェクト・ポートレイト

本展覧会では、エリック・ゼッタクイスト(1962-)による「オブジェクト・ポートレイト」シリーズを、日本で初めて紹介いたします。

彼は、1992年までの10年間、現代美術家の杉本博司(1948-)のもとで働きながら現代的な写真表現と東洋の古美術を学び、現在はニューヨークを拠点に活動しています。2016年には、当館の所蔵作品を撮影し、34点の作品を制作しました。

「オブジェクト・ポートレイト」というのは、ゼッタクイストによって名づけられたシリーズ名で、「ポートレイト」とは肖像画、あるいは肖像写真であり、この場合描かれるのは人物ではなくて「オブジェクト(物)」、本展の場合には古陶磁ということになります。彼の作品は、ミニマルズムの作品や宋時代の陶磁器からの影響のもとで、古陶磁の細部を高度に抽象化しています。

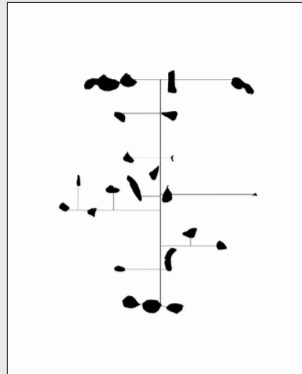
本展でこれらの作品は、被写体となった古陶磁とともに展示されます。つまりこの展覧会は、現代美術と古陶磁という、それぞれが独立して鑑賞することのできる芸術作品を同時に展示することによって、そこに現れる作品相互の関係性を提示する試みでもあります。美術館のコレクションが、現代の新たな表現を生み出す瞬間を体感し、そしてまた、ゼッタクイストの眼をとらえて、陶磁器の新たな表情を見つめ直していただきたいと思います。



エリック・ゼッタクイスト
《青磁劃花 葉文 八角水注》2016年



青磁劃花 葉文 八角水注
(せいじかっか しようもん はっかくすいぢゆう)
北宋時代・11世紀、龍泉窯
高22.6cm
大阪市立東洋陶磁美術館蔵
撮影 六田知弘



エリック・ゼッタクイスト
《白磁透彫 蓮花文 盆台》2016年



白磁透彫 蓮花文 盆台
(はくじすかしほり れんかもん ほんだい)
朝鮮時代・16世紀 高39.5cm
大阪市立東洋陶磁美術館蔵
住友グループ寄贈(安宅コレクション)
撮影 六田知弘

■記念イベント

館長講演会「ものの肖像—現代写真と古美術」

講師：出川哲朗(大阪市立東洋陶磁美術館館長)
日時：2019年1月27日 午後3時~4時30分(受付開始2時30分)
定員：70名 事前申込制 申込締切：1月12日(土)必着
場所：大阪市立東洋陶磁美術館 地下講堂
参加費：無料(ただし本展の観覧券が必要)

お申込み方法とご注意

往復はがきに住所・氏名・電話番号を明記の上、東洋陶磁美術館学芸課までご郵送ください(はがき1枚につき1名様有効)。応募者多数の場合は抽選になります。お申込の際にご提出いただく住所・氏名などの個人情報は厳重に管理し、本事業の実施ならびに事務連絡以外には使用いたしません。

その他イベントの詳細は決まり次第当館ホームページ
(<http://www.moco.or.jp>)にて随時お知らせします。



学芸員のおススメコレクション

天王寺動物園 干支の動物

2019年の干支動物はイノシシです。残念ながら当園ではイノシシは飼育していませんので、イノシシの一般的なお話をさせていただきます。ウシなどと同じウシ目(偶蹄目)に属しますが、ウシやシカなどと違って胃袋は1つなので反芻はしません。オスのイノシシは単独で生活しますが、メスは子どもと一緒に生活し多いときは50頭近い群れとなります。体型からは想像できないような運動能力があり、時速45Kmほどで走り、助走なしで垂直に1m以上飛び上がることもできます。猪突猛進という言葉がありますが、他の動物のように急停止や急な方向転換もできます。

(天王寺動物園獣医師 今西隆和)



天王寺動物園 ●所在地 〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-108 ●TEL 06-6771-8401 ●FAX 06-6772-4633 ●アクセス 地下鉄「動物園前」1号出口、「恵美須町」3号出口、「天王寺」5号出口 ●ホームページ <http://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu170/tennojizoo/>

